

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0142

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	医療データ人材育成拠点形成事業			担当部局庁	高等教育局	作成責任者	
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	医学教育課	医学教育課長 俵 幸嗣	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定、平成29年2月17日一部変更) キャリアパスの視点から見たゲノム医療関連人材の育成について(平成29年12月12日) 医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する基本方針(平成30年4月27日 閣議決定) 未来投資戦略2018(平成30年6月15日閣議決定)		
政策	4 個性が輝く高等教育の振興			主要経費	科学技術振興費		
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	世界に先駆けて超高齢社会を迎える我が国においては、健康寿命の延伸による一億総活躍社会の実現に向け、地域社会と連携した予防・医療・介護システムの構築や医療データの利活用による次世代の医療の実現などが求められており、これらの医療ニーズに対応できる医療人材の養成が求められることから、医療データの利活用を推進できるトップレベルの人材を育成する拠点を形成する。						
現状・課題 (5行程度以内)	大規模な医療データの利活用により、①疾患の原因解明、②予防法の解明、③個別化医療の実現、④医薬品の安全性評価、⑤新薬や新医療技術に係る研究開発の推進など様々な成果が期待されている。我が国では、次世代医療基盤法の施行(平成30年5月)や保健医療データプラットフォームの本格稼働などにより、医療データを大規模に収集する環境が整備されつつあるところ。 医療データは①大規模なデータを意味のあるかたちに整理(医療データの活用基盤を運営・構築)し、②整理されたデータを分析、課題を解決(医療データの利活用)することが重要であるが、このような収集された医療データの利活用を推進する人材が不足している。						
事業概要 (5行程度以内)	複数の大学が連携し、それぞれの強みや特色を活かして、医療データの活用基盤を構築・運営する人材や医療データを利活用できる人材を育成する優れた取組を支援する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1414738.htm						
実施方法	補助						
補助率等	【補助率:定額補助】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	170	161	131.4	66.8	-
		執行額(G)	169	160	131.1		
		執行率(%) =(G)/(F)	99%	99%	100%		
		当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	99%	99%	100%		
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
		(項)	高等教育振興費		令和5年度:最終年度		
		(目)	研究拠点形成費等補助金	67			
	研究拠点形成等委員等旅費	0					
	研究拠点形成等業務旅費	0					
	研究拠点形成等謝金	0					
	その他	0	-				
	計(A)	66.8	-				

活動内容① (アクティビティ)	選定大学を対象に、医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材を育成するための優れた取組を支援する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材を育成するための教育プログラム・コースの新設(発展的改変・拡充を含む)	教育プログラム・コースの実施数	活動実績	件	5	5	5	-	-	
			当初見込み	件	5	5	5	5	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	現状・課題の欄に記載した、医療データの利活用を推進する人材の不足が解消されることで、地域社会と連携した予防・医療・介護システムの構築や医療データの利活用による次世代の医療の実現に資すると考えられるため、各大学が設定した人材養成プログラム・コースにおける養成人数を短期アウトカムとして設定した。なお、本事業は当初の補助期間は3年間であるが、令和3年度に中間評価を実施し、5年間まで補助期間を延長しているため、短期アウトカムの目標年度は補助期間開始から2年目にあたる令和2年度としている。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 2 年度		
	医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材の養成数の増加	各大学が設定した医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材養成プログラム・コースにおける養成人数	成果実績	件	93	-	-	93		
			目標値	件	46	-	-	46		
達成度	%	202.2	-	-	202.2					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	成果実績:医療データ人材育成拠点形成事業 取組状況調査等 目標値:医療データ人材育成拠点形成事業 申請書 教育プログラム・コース受入目標人数									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	中間評価の結果、補助期間の延長が認められた2課題について、最終年度(令和5年度)までの人材養成プログラム・コースにおける養成人数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
	医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材の養成数の増加	各大学が設定した医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材養成プログラム・コースにおける養成人数	成果実績	人	93	171	260	-		
			目標値	人	46	114	192	270		
達成度	%	202.2	150	135.4	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	成果実績:医療データ人材育成拠点形成事業 取組状況調査等 目標値:医療データ人材育成拠点形成事業 申請書 教育プログラム・コース受入目標人数									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

文部科学省
(131百万円)

謝金:0.3百万円
 庁費:0.2百万円
 委員等旅費:0.2百万円
 業務旅費:0.1百万円 を含む

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。



【補助金等交付】

A.大学(全2大学)
(130百万円)

各大学がそれぞれの強みや特色を生かした大学間連携により、医療データの運用基盤を構築・運営する人材や医療データを利活用できる人材を育成する。

【分担金】

B.連携大学(全3大学)
(130百万円のうち21百万円)

申請担当大学と連携して、各大学がそれぞれの強みや特色を生かした大学間連携により、医療データの運用基盤を構築・運営する人材や医療データを利活用できる人材を育成する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

費目・使途	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費・謝金	事業担当教員、事務補佐員 等	37	人件費・謝金	事務補佐員 等	4	
間接経費	間接経費	11	間接経費	間接経費	2	
物品費	実習設備 等	10	物品費	消耗品 等	1	
その他	外注費、印刷製本費 等	8				
計		66	計		7	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業	66	補助金等交付	-	--	
2	国立大学法人京都大学	3130005005532	関西広域 医療データ人材教育拠点形成事業	64	補助金等交付	-	--	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人筑波大学	5050005005266	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業(分担金)	7	その他	-	--	
2	国立大学法人富山大学	4230005003054	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業(分担金)	7	その他	-	--	
3	学校法人自治医科大学	4010005002334	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業(分担金)	7	その他	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	